

記載例 ※木造の場合

- ・残存物品(フロン類使用機器)有りの場合
- ・特定建設資材への付着物有り(石綿吹付け、PCB含有シーリング)の場合

別表1

(A4)

建築物に係る解体工事

分別解体等の計画等

周辺にある施設の全てについてチェック

建築物の構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()	
建築物の状況	築年数 <u>30</u> 年、棟数 <u>1</u> 棟 その他()	
建築物に関する調査の結果	周辺状況 周辺にある施設 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 <u>1</u> m その他(住宅密集地)	
建築物に関する調査の結果	作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 その他()	工事着手前に実施する措置の内容 隣地使用の承諾済、道路使用許可済
施設との距離を記入	搬出経路 障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 <u>3</u> m 通学路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他(大型車交通不可)	交通整理員の常駐を計画 搬出用に2トントラックを準備
工事着手前に、建物内に残存物品がある場合は、該当する項目全てにチェック	残存物品 <input checked="" type="checkbox"/> フロン類使用機器 <input checked="" type="checkbox"/> 業務用エアコン、冷凍冷蔵機器 <input type="checkbox"/> 家電4品 <input type="checkbox"/> 家庭用エアコン、テレビ、冷凍冷蔵庫、洗濯・乾燥機 → 2をチェック <input type="checkbox"/> PCB使用機器 → 3をチェック <input type="checkbox"/> その他【PCB含有シーリング材】 → 7に記入	1 フロン排出抑制法に従い適正に処置する。 2 家電リサイクル法に従い適正に処置する。 3 廃棄物処理法及びPCB特別措置法に従い適正に処置する。 4 石綿撤去済み 5 石綿撤去完了予定日() () () 6 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。
トランス、コンデンサー蛍光灯安定器などが該当する場合は、該当する項目にチェック	特定建設資材への付着物 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等) → 4又は5をチェック <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(スレート波板、スレートボード、スレート瓦、サイディング、ケイカル板等) → 4、5又は6をチェック <input type="checkbox"/> その他【 】 → 7に記入	7 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。
飛散性石綿とは ①発じん性が著しく高いもの： ・吹付け石綿 ②発じん性が高いもの： ・耐火被覆板(ケイカル板2種) ・断熱材(煙突、屋根折板) ・保温材	その他(特定建設資材に付着していない、解体時に発生する有害物質) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等) → 4又は5をチェック <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(スレート波板、スレートボード、スレート瓦、サイディング、ケイカル板等) → 4、5又は6をチェック <input type="checkbox"/> その他【 】 → 7に記入	8 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。
非飛散性石綿とは 発じん性が比較的低いもの： ・スレート ・石綿含有岩綿吸音板 ・Pタイル ・ケイカル板(第1種) ・サイディング ・石綿セメント板 などが該当する	分別解体等の方法 ⑤その他()	9 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。
作業内容	建築設備・内装材等の取り外し <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 屋根ふき材 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 外装材・上部構造部分 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基礎・基礎ぐい <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	分別解体等の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
工事の工程の順序	<input checked="" type="checkbox"/> 上の工程における①→②→③→④の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()	
内装材に木材が含まれる場合	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 不可の場合の理由(建築物の構造上、取り外しができないため)	
建築物に用いられた建設資材の量の見込み	40 トン	
廃棄物発生見込み	種類 量の見込み 発生が見込まれる部分(注) <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊 25 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生木材 10 トン <input checked="" type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ (注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他	不可の場合は、その理由が必要(石膏ボードと木材が密着しているため) 全て資材について記載する必要がある(下段の特定建設資材廃棄物の発生見込み量以上)
備考	□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。【 】欄には具体的品目を記入す	

不十分な場合
例)・隣地を借地
・立木を除去
・構造物の一部を除去し、作業場を確保 など

例)・道路使用許可
・通行止め
・搬出経路確保のため鉄板敷きを準備
・2tトラックにて搬出など

飛散性石綿がある場合は、事前に撤去する必要がある

機械併用の場合には、その理由が必要

・瓦等が存在しない場合は、「無」
・機械併用の場合には、その理由が必要(作業に危険が伴う場合など)

その他の場合は、その理由が必要

不可の場合は、その理由が必要(石膏ボードと木材が密着しているため)

数量については、四捨五入による

2019年6月1日